

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1		○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえ、事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設理念について各項目ごとに説明を付け、マニュアルに掲載し、毎日朝のミーティングで唱和して職務に臨んでいる。	理念は毎日ミーティングで唱和し、管理者は理念の目的を解りやすく職員に説明し、利用本位となるよう支援しています。また、振り返りを目的に見やすい場所に掲示し、ハンフレットやお便りで利用者家族に理念を周知しています。		
2		○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に入会しているが、令和4年度もコロナウイルス感染予防の観点から地域交流の行事は中止している為、交流も図られていない。	今年度もコロナ感染予防対策の為、利用者と町内会との交流は出来ていませんが、町内会の春報や冬あかの清掃活動は職員が参加し交流しています。また、近隣住民とは散歩の際の挨拶や雪かきの協力があります。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	以前は施設のお祭り時にグループホームでカフェを出店し、利用者様に接客をして頂き、グループホームや認知症についての啓発を行うが令和2年よりコロナウイルスにより実施できなかった。			
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス感染予防の観点から書類により照会やサービス実践報告を行っている。意見を頂いた際は反映するよう努めている。	運営推進会議は、書面会議となっており、利用者状況や行事、事故、研修、コロナ対策等を家族や運営推進委員に郵送しており、指摘を受け期日を限定し送付し、全員に意見を求めて運営の改善に努めています。		
5		○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	分からないことは北見市担当者の方に運営推進会議の照会している。	行政とはメールや電話で情報を交換しており、介護保険改正やコロナ感染予防に対する助言、研修案内等を受け解らない点は直接訪問や電話等で問い合わせを行い良好な関係構築がなされています。		
6		○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束等防止に向けて、指針、検討委員会の設置、検討会議、研修会を定期的に開催し防止に向けて取り組んでいる。	身体拘束及び虐待防止委員会は、各ユニット毎職員全員で年4回実施されています。また、研修は年2回実施されており、研修を受けた職員のみがレポートを提出され、理解度を確認しています。		